

平成 28 年度 資格スクール大栄

第 144 回日商簿記検定試験 模範解答

3 級

商 業 簿 記

第 1 問

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 上	72,000	売 掛 金	72,000
2	当 座 預 金	100,000	普 通 預 金	2,100,000
	定 期 預 金	2,000,000		
3	消 耗 品 費	30,000	未 払 金	30,000
4	前 受 金	200,000	売 掛 金	800,000
	貸 倒 損 失	600,000		
5	買 掛 金	250,000	支 払 手 形	250,000
	通 信 費	500	現 金	500

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

第 2 問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
460,000	180,000	84,000	163,000

各 2 点 合計 8 点

(配点は、当学院の予想です)

第 3 問

合 計 試 算 表

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
10 月 31 日	9 月 30 日		9 月 30 日	10 月 31 日
1,360,000	1,260,000	現 金	1,030,000	1,107,000
10,470,500	9,520,500	普 通 預 金	8,223,000	9,267,200
2,068,000	1,576,000	当 座 預 金	500,000	700,000
1,700,000	1,700,000	受 取 手 形	1,200,000	1,700,000
10,950,000	9,800,000	売 掛 金	8,850,000	9,800,000
1,540,000	1,540,000	繰 越 商 品		
150,000	120,000	仮 払 金	120,000	150,000
6,000,000	6,000,000	建 物		
3,200,000	3,200,000	備 品		
1,160,000	960,000	支 払 手 形	1,160,000	1,720,000
7,450,000	6,750,000	買 掛 金	7,450,000	7,725,000
31,500	27,500	所 得 税 預 り 金	31,500	34,500
		建物減価償却累計額	2,400,000	2,400,000
		備品減価償却累計額	2,400,000	2,400,000
332,000	300,000	資 本 金	8,707,300	8,707,300
		売 上	8,750,000	9,900,000
6,985,000	6,150,000	仕 入		
1,453,000	1,300,000	給 料		
244,000	220,000	水 道 光 熱 費		
88,000	80,000	通 信 費		
121,000	87,000	旅 費 交 通 費		
100,000	75,000	広 告 宣 伝 費		
22,000	20,800	支 払 手 数 料		
113,000	110,000	租 税 公 課		
40,000		修 繕 費		
33,000	25,000	手 形 売 却 損		
55,611,000	50,821,800		50,821,800	55,611,000

1 つにつき 2 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

第 4 問

(1)

仕 訳 日 計 表		
平成 28 年 11 月 1 日		
借 方	勘 定 科 目	貸 方
70,000	現 金	48,000
24,000	受 取 手 形	
80,000	売 掛 金	54,000
39,000	買 掛 金	53,000
	売 上	120,000
53,000	仕 入	
9,000	水 道 光 熱 費	
275,000		275,000

※ 元丁欄と仕丁欄は省略している。

現 金	
28/11/1 前月繰越 78,000	28/11/1 仕訳日計表 (48,000)
〃 仕訳日計表 (70,000)	

(2) 11 月 1 日現在の札幌商店に対する売掛金残高

¥ (99,000)

1 つにつき 2 点 合計 12 点
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問

貸 借 対 照 表

平成 27 年 12 月 31 日

(単位：円)

現 金	(560,000)	買 掛 金	(440,000)
当 座 預 金	(668,000)	(未 払 金)	(360,000)
売 掛 金 (800,000)		未 払 費 用	(3,000)
(貸 倒 引 当 金) (24,000)	(776,000)	借 入 金	(600,000)
商 品	(189,000)	資 本 金	900,000
前 払 費 用	(80,000)	当期純(利益)	(514,000)
未 収 収 益	(24,000)		
備 品 (400,000)			
減価償却累計額 (240,000)	(160,000)		
土 地	(360,000)		
	(2,817,000)		(2,817,000)

損 益 計 算 書

平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで

(単位：円)

売 上 原 価	(3,284,000)	売 上 高	5,400,000
給 料	(960,000)	受 取 手 数 料	(107,000)
貸倒引当金繰入	(14,000)		
減 価 償 却 費	(80,000)		
支 払 家 賃	(480,000)		
水 道 光 熱 費	(130,000)		
通 信 費	(32,600)		
雑 (損)	(400)		
支 払 利 息	(12,000)		
当期純(利益)	(514,000)		
	(5,507,000)		(5,507,000)

1 つにつき 3 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

【3 級解説】

第 1 問

1. 売上の値引や返品があったときは、「売上」勘定を減少します。
2. 当座借越契約自体は簿記上の取引ではありませんが、担保として預け入れている預金の増減は簿記上の取引なので仕訳が必要です。
3. 商品以外の物品を購入し、代金は後日支払うときは「未払金」勘定で処理します。

第 2 問

平成 28 年度における前期繰越額および期中取引の仕訳は以下の通りとなります。

備品勘定の前期繰越額：備品 A ¥100,000 + 備品 B ¥360,000 = ¥460,000 …… (ア)

備品減価償却累計額の前期繰越額：¥54,000 + ¥30,000 = ¥84,000 …… (ウ)

$$\text{備品 A 減価償却累計額} : ¥100,000 \times 0.9 \times \frac{3\text{年}}{5\text{年}} = ¥54,000$$

$$\text{備品 B 減価償却累計額} : ¥360,000 \times \frac{4\text{ヵ月}}{48\text{ヵ月}(4\text{年})} = ¥30,000$$

2/10	(備 品 C)	180,000	(当 座 預 金)	180,000 …… (イ)
12/31	(減 価 償 却 費)	163,000*	(備品減価償却累計額)	163,000 …… (エ)

* 備品 A 減価償却費：¥100,000 × 0.9 ÷ 5 年 = ¥18,000

備品 B 減価償却費：¥360,000 ÷ 4 年 = ¥90,000

備品 C 減価償却費：¥180,000 ÷ 3 年 × $\frac{11\text{ヵ月}}{12\text{ヵ月}}$ = ¥55,000 合計 ¥163,000

第 3 問

10 月中の取引（仕訳の単位：円）

3 日	(売 掛 金)	400,000	(売 上)	400,000
4 日	(広 告 宣 伝 費)	25,000	(普 通 預 金)	25,000
	(支 払 手 数 料)	200	(普 通 預 金)	200
5 日	(修 繕 費)	40,000	(現 金)	40,000
6 日	(当 座 預 金)	492,000	(受 取 手 形)	500,000
	(手 形 売 却 損)	8,000		
11 日	(所 得 税 預 り 金)	4,000	(普 通 預 金)	4,000
12 日	(仕 入)	275,000	(買 掛 金)	275,000
13 日	(仮 払 金)	30,000	(現 金)	30,000
14 日	(売 掛 金)	750,000	(売 上)	750,000
17 日	(旅 費 交 通 費)	34,000	(仮 払 金)	30,000
			(現 金)	4,000
18 日	(現 金)	100,000	(普 通 預 金)	100,000
20 日	(支 払 手 形)	200,000	(当 座 預 金)	200,000
25 日	(給 料)	153,000	(所 得 税 預 り 金)	3,000
			(普 通 預 金)	150,000

26 日	(租 税 公 課)	3,000	(現 金)	3,000
27 日	(仕 入)	560,000	(支 払 手 形)	560,000
28 日	(通 信 費)	8,000	(普 通 預 金)	64,000
	(水 道 光 熱 費)	24,000		
	(資 本 金)	32,000		
31 日	(買 掛 金)	700,000	(普 通 預 金)	700,000
	(支 払 手 数 料)	1,000	(普 通 預 金)	1,000
	(普 通 預 金)	950,000	(売 掛 金)	950,000

第 4 問

(1) 11 月 1 日の取引 (仕訳の単位 : 円)

<入金伝票>

(現 金)	70,000	(売 掛 金 (札 幌))	30,000
		(売 上)	40,000

<出金伝票>

(買 掛 金 (埼 玉))	23,000	(現 金)	48,000
(買 掛 金 (千 葉))	16,000		
(水 道 光 熱 費)	9,000		

<振替伝票>

(売 掛 金 (札 幌))	80,000	(売 上)	80,000
(受 取 手 形)	24,000	(売 掛 金 (仙 台))	24,000
(仕 入)	53,000	(買 掛 金 (埼 玉))	53,000

(2) 11 月 1 日現在の札幌商品に対する売掛金残高

$$¥49,000 - ¥30,000 + ¥80,000 = ¥99,000$$

第 5 問

<決算整理事項等>

1. 現金過不足について

(通 信 費)	3,600	(現 金)	4,000
(雑 損)	400		

決算時において原因不明の現金不足額は「雑損」勘定に振り替えます。

2. 仮受金について

(仮 受 金)	67,000	(売 掛 金)	67,000
---------	--------	---------	--------

3. 土地について

(買 掛 金)	360,000	(未 払 金)	360,000
---------	---------	---------	---------

4. 貸倒引当金について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	14,000*	(貸 倒 引 当 金)	14,000
-----------------	---------	-------------	--------

売掛金の期末残高の 3%(¥24,000)を貸倒引当金として設定するため、決算整理前の貸倒引当金残高 ¥10,000 に ¥14,000 を繰り入れます。

$$* \quad \frac{¥867,000 - ¥67,000}{\text{売掛金}} \times 3\% - \frac{¥10,000}{\text{前 T/B 貸倒引当金}} = ¥14,000$$

5. 売上原価の算定について

(仕 入)	273,000 ^{*1}	(繰 越 商 品)	273,000
(繰 越 商 品)	189,000	(仕 入)	189,000 ^{*2}

売上原価の算定仕訳は「仕入」勘定や「売上原価」勘定を使用する方法がありますが、いずれの方法でも損益計算書上の表示は同じです。また、「繰越商品」勘定は、貸借対照表では「商品」として表示します。

*1 期首商品棚卸高：整理前試算表の「繰越商品」勘定残高より判明します。

*2 期末商品棚卸高：問題文資料より判明します。

6. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	80,000	(備品減価償却累計額)	80,000*
-------------	--------	-------------	---------

$$* \quad ¥400,000 \div 5 \text{ 年} = ¥80,000$$

7. 支払家賃について

(前 払 費 用)	80,000*	(支 払 家 賃)	80,000
-----------	---------	-----------	--------

支払った家賃 ¥240,000 のうち、2 ヶ月分(翌 1/1～2/末分)は次期の期間に対するものなので、これを当期の家賃から減額し、次期に繰り延べます。

$$* \quad ¥240,000 \times \frac{2 \text{ ヶ月}}{6 \text{ ヶ月}} = ¥80,000$$

8. 借入利息について

(支 払 利 息)	3,000	(未 払 費 用)	3,000
-----------	-------	-----------	-------

$$* \quad ¥600,000 \times 2\% \times \frac{3 \text{ ヶ月}}{12 \text{ ヶ月}} = ¥3,000$$

9. 手数料について

(未 収 収 益)	24,000	(受 取 手 数 料)	24,000
-----------	--------	-------------	--------